しきること

15%ア



清潔で使いやすい洋式トイレを設置する必

要もあった。

問題もあり、

顧客満足度向上のためにも、

齢者の顧客がトイレを使いにくいといった

げることを課題として設定した。

ランチタイム以外の稼働率を上

その他にも、

和式トイレしかなく、

高

今できること"から実施資金のかからない

でディスカットし、新メニュー ューデザインの具体案 ②お客様に訴求しら①手書きが可能な材料なども含めたメニ の店舗デザインの専門家派遣を活用しなが に具体的な店舗訴求を行うため、 すぐに着手できる提案内容から実施。さら メニュー、 かからない改善から着手するという方針と 資金面の制約条件から、 新メニュー 季節の一品による特別感など、 ション のアイデアをCOと相談者 した。そしてデザ まずはお金の ミラサポ



食習慣までを変えた世の中の大きな変化が

で、「経営」-日々の調理、 価、来店 の取りな 談者に当拠点への相談を促した。ちょう なかったように感じたメインバンクが相 響し始め、売上げの低迷が続いていた。 近隣の事業所で働く方々が、 ンビニなどの中食にシフトする動きも影 |税が5%に上昇したことや、飲酒運創業時は順調な滑り出しだったが、 相談者の近くで開催されたビジネス 「経営」という視点で考えることが少 来店客数ともに減少し始めた。また、 アで当拠点のコー 5%に上昇し 締まりが強化された頃から、 接客を懸命にこなすばかり お弁当やコ 飲酒運転 客単

> 開策を得られたらと願い、 ての相談となった。 下CO)が講演しており、 、現地での初め、売上低迷の打

課題と解決策を提示店をくまなくチェッ ク

えたという。一方で交通量が味しさ」を強みとして持って ちて 飲食店として最も基本的な要素である「美 こだわりが出ており、 を使わない調理、釜炊きのご飯などにその 把握しようと試みた。相談者は、 んかつ」や「牛鍋」の人気に現れて 早速COが店舗を訪問。来店客数が落 いる数字の実態分析を現場の情報から 一方で交通量がある県道に面 看板メニュー いることが窺 冷凍食品 -の -と いた。

メニューブックのページ分けのメニューを決める労力を軽減 関、 支援を行なった。 などを提案した。実施期間中は取引金融機 カードによる外部への訴求や口コミの誘発 地元商工会議所と連携を深めたチー ブックのページ分け ④ショップーを決める労力を軽減するためのが伝わりやすい店内の整理整頓

移動する見込顧客に訴求できる看板やファ

客数の回復が見られない。クルマで分な広さの駐車場があるにもかかわ

などを工夫し、新規顧客増に効果的

な策を検討する必要性を打ち出した。

シループも来店 個人客だけでなく、

グ個

滞在時間も40分程度とランチに回転数を

タイムの客単価としては低価格ではないが

わいにくいといった偏りがあった。

ランチ

しいため、

ランチ以外の時間帯に店舗が賑

ト系などのメニューが乏

また、デザ

上げることは難し

い。メニュー

内容の見直

ョップカーご 面で前に進まないことが多かったそうだ。 ができていなかった」 向き合うばかりで、 効果は大きな実感が得られたという。店舗 訴求力の高いものまでを計画的に進めるこ ことができたことも成果につながる要因で アイデアだけでなく、 そういった意味では、 上げるために店舗の改装を考えて 「相談をするまでは、 に組み込まれるようになったのが大きい。 に繋がった。慰安イベントのスケジュー そろばん製造体験ができる施設を始め、 を構える小野市は、播州そろばんで全国 とができた。また、ショップカードによる からないお手製のものから、 70%のシェアを占めており、近隣にある 通りに面した看板の改善効果が大き して改善の順序についても、 ドを置いてもらえたことが集客 経営視点で考えること 日々の業務と懸命に COによる具体的な 精神的に背中を押す と相談者。 資金の必要な 集客力を ŧ 資金 シ

4

グループ客の獲得に 成功し売上げが 15%向上

3

「できることから」改善。 デザートメニューの開発や 店舗改善、ショップカードで 新規客を開拓

2

ランチ以外の時間等の 来店機会を逃している 可能性が明確化

中食へのシフトや 食習慣の変化で 売上げが低迷

解決 ム ラ ま イ て ン 0)

タ イ題

^{兵庫県} 有限会社招喜

ドの改善で売上げの改善に挑む。

トメニューの開発やファサ

1996年創業。代表と母が役員を務め ていた会社が経営していた「うどん・ 和食店」を引き継ぐ形で和食店をリニ ューアル。現在ランチタイムがメインで「牛鍋」や「とんかつ」など1,000円 前後のメニューを主力とし、テーブル、 座敷と32席ある店内に常時ジャズが流 れる、落ち着いた雰囲気のいい飲食 店である。

53

で、ランチタイム以外の稼働率を上げ面の制約から「できることから」の方針の低迷に悩まされていた相談者。資金がど世の中の食習慣が変わり、売上げ消費税率のアップや、中食へのシフト

54